

青森県原子力センター所報 正誤表

※これらの訂正により検討結果が変更になるものではありません。

・第19号（令和6年度）

ページ	該当部分	誤	正
16	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表8 農産物のC-14比放射能(令和5年度)	R5年度調査結果 (Bq/g炭素) 0.230 ± 0.002	R5年度調査結果 (Bq/g炭素) 0.237 ± 0.002

・第18号（令和5年度）

ページ	該当部分	誤	正
28	(技術報告) GAGGシンチレーション検出器を用いた空間線量率計の測定結果 表1 検出器仕様 測定範囲	測定範囲 (μGy/h) GAGG:0～999999 NaI:BG～10	測定範囲 GAGG:0.5～10,000μSv/h NaI:BG～10μGy/h

・第12号（平成29年度）

ページ	該当部分	誤	正
15	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(1)トリチウム	試料は、減圧蒸留法により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。	試料は、蒸留により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。
28	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成28年度) 精米の千樽における(参考)H19～27年度調査結果	0.231 ～ 0.248	0.229 ～ 0.248
28	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成28年度) 精米の二又①における(参考)H19～27年度調査結果	0.231 ～ 0.241	0.230 ～ 0.241
28	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成28年度) 精米の二又2における(参考)H19～27年度調査結果	0.235 ～ 0.251	0.229 ～ 0.251
28	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成28年度) 精米の戸鎖における(参考)H19～27年度調査結果	0.237 ～ 0.255	0.231 ～ 0.255
28	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成28年度) 精米の平沼における(参考)H19～27年度調査結果	0.233 ～ 0.234	0.232 ～ 0.234
32	(技術報告) 環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表9 環境試料中のI-129濃度及びI-129/I-127原子数比(平成28年度) 横浜町における10月の(参考)平成19～27年度調査結果 <sup>129</sup> I/ <sup>127</sup> I原子数比	$4.2 \times 10^{-9}$ ～ $6.0 \times 10^{-7}$	$3.8 \times 10^{-9}$ ～ $6.0 \times 10^{-7}$

・第11号（平成28年度）

ページ	該当部分	誤	正
43	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表2 牛乳及び乳牛の飲料水におけるトリチウム濃度(平成27年度)二又における飲料水の平成22～26年度調査結果	*～0.25	*～0.29
20	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表2 牛乳及び乳牛の飲料水におけるトリチウム濃度(平成28年度)二又における飲料水の平成22～27年度調査結果	*～0.25	*～0.29
20	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表2 牛乳及び乳牛の飲料水におけるトリチウム濃度(平成28年度)二又における牛乳(原乳)のTFWTの平成19～27年度調査結果	*～0.42	*～0.58
39	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(1)トリチウム	試料は、減圧蒸留法により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。	試料は、蒸留により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。
48	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成27年度)精米の二又2における(参考)H19～26年度調査結果	0.235～0.251	0.229～0.251
48	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表7 農産物のC-14比放射能(平成27年度)精米の戸鎖における(参考)H19～26年度調査結果	0.237～0.255	0.231～0.255

・第10号（平成27年度）

ページ	該当部分	誤	正
29	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(1)トリチウム	試料は、減圧蒸留法により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。	試料は、蒸留により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。
33	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表2 牛乳及び乳牛の飲料水におけるトリチウム濃度(平成26年度)二又における飲料水の平成22～25年度調査結果	*～0.25	*～0.29

・第9号（平成26年度）

ページ	該当部分	誤	正
19	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(1)トリチウム	試料は、減圧蒸留法により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。	試料は、蒸留により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。
21	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(3)ヨウ素-129	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素からヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、乾燥試料を次亜塩素酸ナトリウム溶液で分解し、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素から安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)測定用試料を分取した後、ヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。
23	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査表2 牛乳及び乳牛の飲料水におけるトリチウム濃度(平成25年度)二又における1月の飲料水中の濃度	*	0.29 ± 0.07

・第8号（平成25年度）

ページ	該当部分	誤	正
6	(研究報告)TMAHアルカリ抽出法を用いたDRC-ICP-MSによる葉菜及び海藻試料中のヨウ素-129分析の検討 表2 TMAHアルカリ抽出法による試料中I-127濃度測定結果 NIST1573a tomato leavesの測定結果の1回目	8.7 ± 0.094	0.87 ± 0.0094
6	(研究報告)TMAHアルカリ抽出法を用いたDRC-ICP-MSによる葉菜及び海藻試料中のヨウ素-129分析の検討 表2 TMAHアルカリ抽出法による試料中I-127濃度測定結果 NIST1573a tomato leavesの測定結果の2回目	8.6 ± 0.059	0.86 ± 0.0059
6	(研究報告)TMAHアルカリ抽出法を用いたDRC-ICP-MSによる葉菜及び海藻試料中のヨウ素-129分析の検討 表2 TMAHアルカリ抽出法による試料中I-127濃度測定結果 NIST1573a tomato leavesの測定結果の3回目	8.6 ± 0.038	0.86 ± 0.0038
49	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(3)ヨウ素-129	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素からヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、乾燥試料を次亜塩素酸ナトリウム溶液で分解し、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素から安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)測定用試料を分取した後、ヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。

・第7号（平成24年度）

ページ	該当部分	誤	正
23	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(1)トリチウム	試料は、減圧蒸留法により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。	試料は、蒸留により精製したのち、トリチウム濃度(Bq/L)を測定した。
25	(技術報告)環境試料中のトリチウム、炭素-14、ヨウ素-129・131調査測定方法(3)ヨウ素-129	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素からヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、乾燥試料を次亜塩素酸ナトリウム溶液で分解し、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。	試料を真空凍結乾燥後、燃焼法によって回収したヨウ素から安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)測定用試料を分取した後、ヨウ化銀を調製し、日本原子力研究開発機構青森研究開発センターが保有する加速器質量分析装置(AMS)を用いてヨウ素-129( <sup>129</sup> I)とヨウ素-127( <sup>127</sup> I)の原子数比を測定した。また、ICP質量分析法によって安定ヨウ素( <sup>127</sup> I)を定量した。